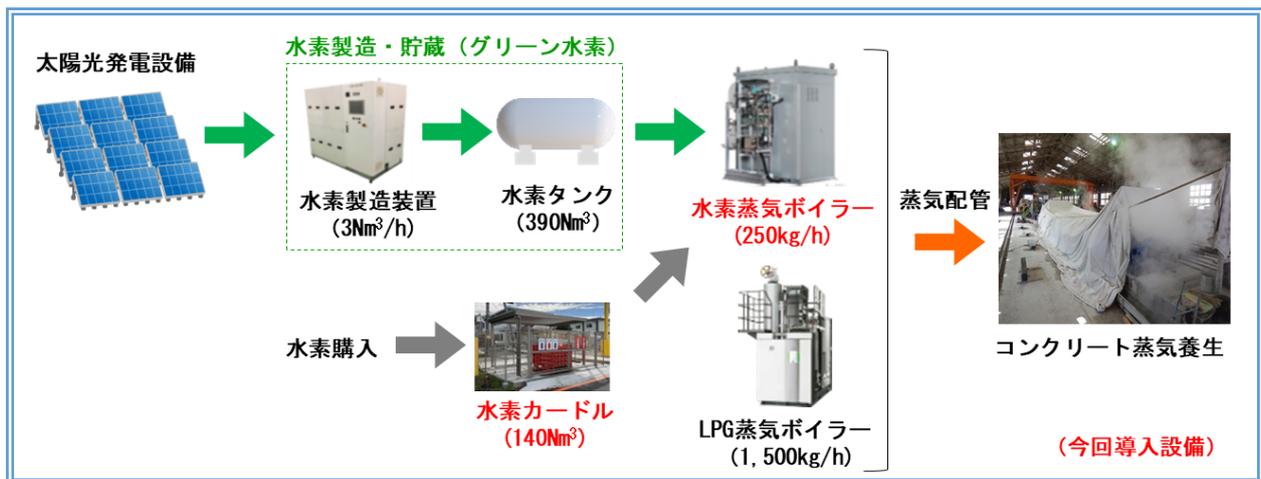


2022年11月1日

プレキャストコンクリート部材製造工場のCO₂排出ゼロに向けた取り組み
 - グリーン水素活用に向けた水素蒸気ボイラーを建設業界で初導入 -

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 近藤 重敏）は、プレキャストコンクリート（PCa）部材を製造する能登川工場（滋賀県東近江市）において、工場全体での再生可能エネルギー（太陽光）による脱炭素化への取り組みとして、グリーン水素活用に向けたCO₂排出ゼロ（運転稼働時）の水素蒸気ボイラーを建設業界で初めて導入し、運転を開始しました。



【グリーン水素活用による脱炭素化に向けたスキーム図】



【能登川工場全景】



【今回導入した水素蒸気ボイラー (左：水素貯蔵設備)】

■導入の経緯と今後の計画

当社では、2050年カーボンニュートラル（CN）に向けたロードマップを策定（2021年11月11日）し、自社所有するPCa製造工場でもCN実現に取り組んでいます。

能登川工場では、工場全体のCO₂排出量の約6割をPCa部材製造時に使用する蒸気ボイラー^(※)が占め、加えて約2割をコンクリート製造プラントやクレーンなどの稼働時電力が占めています。今回稼働を開始した水素蒸気ボイラーに続き、水素製造装置・貯蔵設備の導入と工場建屋屋根への太陽光パネル設置を2023年秋までに行い、再生可能エネルギー（グリーン水素）による蒸気ボイラー稼働に移行していきます。

(※) PCa部材製造時に高温蒸気で養生することで、安定した品質と製造サイクルの短縮（1日でコンクリートが硬化）を実現。

■今後の展開

当社は、「中期経営計画2022-2024」の基本方針の一つに「成長分野への挑戦」を掲げ、サステナブル社会に向けた取り組みを強化しています。引き続き、当社グループの各PCa工場におけるCN実現を推進し、持続可能な社会の実現とともに、当社グループの持続的な成長に取り組んでまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社
経営企画本部 広報室
〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号
TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204
Email:information@smcon.co.jp

以 上